

# 勝文齋、生誕180年記念 押絵行灯41点を一挙公開！

醤油産業の発展により、江戸・東京との往来が盛んになった野田には、人や物資とともに様々な文化がやってきました。

人形町の押絵師・勝文齋が明治初期に制作した押絵行灯もその一つです。

野田の神社に奉納された押絵行灯から、人々は東京の文化に親しんだことでしょう。

本展では、押絵行灯41点をはじめ、勝文齋が制作した押絵羽子板などを展示します。

繊細かつ、ダイナミックな押絵の世界を どうぞお楽しみください。

## 押絵師・四代勝文齋

天保6年(1835)江戸生まれ。  
明治時代に押絵師として活躍し、  
当館所蔵の押絵行灯41点、  
押絵扁額「野田醤油醸造之図」などを制作。  
歌舞伎役者・五代尾上菊五郎や  
絵師・河鍋暁斎らと交流があったことが  
知られている。



四代勝文齋作  
押絵羽子板「羽根つき」(当館蔵)

## 押絵行灯とは

明治17年(1884)の  
野田・琴平神社大祭で奉納されたと  
伝えられている箱型の行灯。  
額面には、押絵で歌舞伎の  
一場面が描かれている。四代勝文齋作。  
※押絵…金襴・緞子・縮緬などの裂を厚紙に貼り、  
綿を入れて人物・花鳥の形にしたもの。

## 【会期中の催し】

### 特別展関連講演

#### 「連」と通人ネットワーク

日 時：11月22日(日)  
13時30分～15時  
講 師：田中優子氏  
(法政大学総長／江戸文化研究者)  
会 場：野田市市民会館 松竹梅の間  
定 員：40名(先着)  
参加費：無料

### 学芸員によるギャラリートーク

#### 学芸員が展示の見どころを解説します。

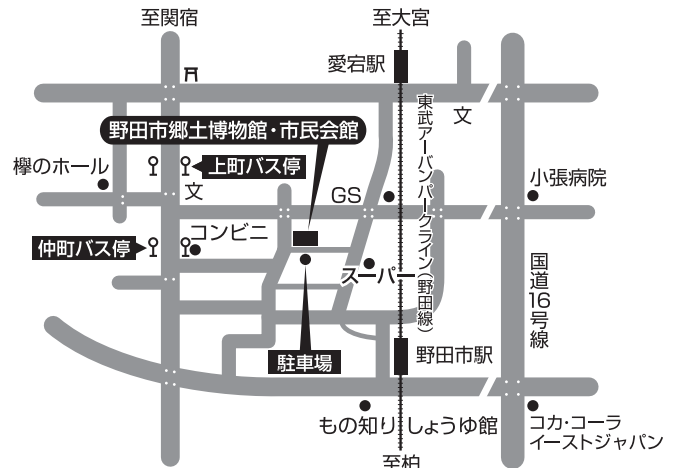
日 時：10月24日(土)、10月29日(木)、  
11月7日(土)、11月12日(木)、  
11月26日(木)、12月5日(土)、  
12月10日(木)  
各回13時30分～14時  
案 内：当館学芸員  
会 場：野田市郷土博物館1階展示室

### ワークショップ

#### 初めての押絵作り

初めてでもできる！来年の干支・さるの押絵色紙をつくります。  
勝文齋になったつもりでチャレンジしてみませんか？

日 時：11月21日(土)  
13時30分～15時30分  
講 師：宮脇豊子氏(押絵作家)  
会 場：野田市市民会館 松竹梅の間  
定 員：20名(先着)  
参加費：500円(材料費)



●アクセス  
東武アーバンパークライン(野田線)野田市駅下車徒歩8分  
まめバス北ルート、新北ルート、南ルート、新南ルート(花井経由)、中ルート、  
いずれも上町下車徒歩7分。または南ルート、新南ルート(花井経由)、中ルート、  
いずれも仲町下車徒歩5分。

●お問い合わせ・申込み 野田市郷土博物館・市民会館  
〒278-0037 千葉県野田市野田370-8  
電話 04-7124-6851 ファックス 04-7124-6866  
<http://www.noda-muse.or.jp>

特別展関連講演、ワークショップは事前のお申込みが必要です。

詳細は市報、タウン誌、ホームページまたは当館宛にお問い合わせください。